

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		文化の振興		款	3	項	1	目	2	事業	1	整理番号	65		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	107		枝番号	
上位施策No・施策名		65 文化・芸術活動の推進		予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 (2) 杉並区後援名義の使用承認事務取扱要綱								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になります。			活動指標名(式)		(1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数 (2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用(企画展や区民貸し出し)等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 区民や団体が行う文化・芸術活動の後援・共催等を行う。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 後援・共催により実施した事業の参加者数 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	22年度					
指標	活動指標(1)		回	39	40	38	37	36	35	40	90.0	97.3			
	活動指標(2)		件	55	56	72	75	60	75	80	75.0	80.0			
	成果指標(1)		人	12,733	13,000	13,480	13,000	11,175	14,000	15,000	74.5	86.0			
	成果指標(2)		人	79,044	80,000	81,535	85,000	96,850	100,000	105,000	92.2	113.9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,844	53,012	42,443	25,449	23,808	25,640	20年度予算執行率%			93.6		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	2,029	1,742	920						
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.47 0.00	2.50 0.00	2.79 0.00	2.50 0.00	2.82 0.00	2.50 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	22,378	22,850	25,501	22,625	25,521	22,625						
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	37,222	75,862	67,944	48,074	49,329	48,265						
	単位あたりコスト (-)÷		円	954,410	1,896,550	1,788,000	1,299,297	1,370,250	1,379,000						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0	0					
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0	0							
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	37,222	75,862	67,944	48,074	49,329	48,265							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 65

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	日本フィル友好提携事業(細)	36
	区民ギャラリーの活用(細)	21	件	2,937
	杉並公会堂利用料(細)	20	件	11,687
	その他(後援名義使用60件等)			7,952
(2)事業実績	日本フィル友好提携事業では、杉並公会堂でシーズンコンサートを4回、公開リハーサルを5回、区役所でロビーコンサート2回、学校への出張音楽教室や、区施設への出張コンサートを合わせて25回実施しました。区民ギャラリーでは、9月からの区役所本庁舎土日開庁に合わせて改修、充実を図り、企画展として9月に区所蔵美術品展を、1月に佐藤忠良展を開催しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第36回区民意向調査(H16) 地域文化の振興施策 評価できる=7.7% 要望が高い=8.0% 第41回区民意向調査(H21) 地域文化の振興施策 評価できる=10.6% 要望が高い=6.8%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	日本フィルのコンサートは恒例のイベントとして好評を得ていますが、特に学校や区施設で行う出張コンサートに対して、質の高い音楽を身近で聴くことができると高い評価を受けています。また、区民ギャラリーの企画展についても身近な場所で美術等に触れることができ満足だったという意見をいただいています。
	今後の予測	厳しい経済状況ですが、文化芸術の振興に関する基本方針(H19閣議決定)にも触れていますように、文化芸術が経済活動において新たな需要や高い付加価値を生み出す源泉ともなっています。今後も構造改革の進展により、民間と行政の役割分担の見直しが一層進み、多様なサービスが効率的に提供されることへの期待が高まります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	新杉並公会堂で行われる日フィルの演奏や、学校や区施設などで行われる出張コンサートなどは、区民等が身近で一流の文化・芸術に触れる機会を広げています。また、区民ギャラリーも気軽に区民等が発表できる場として機能しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	日本フィル友好提携事業では、参加・体験型、発表型事業の採用を検討します。区民ギャラリーでは、企画展の内容の充実や、貸し出し方法の整理調整を行うことにより、より区民等にとって気軽に身近な場所にします。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	区民ギャラリーの一層の充実や貸し出し方法の調整を行うことに合わせて、利用者から最低限の利用料を徴収することも視野に入れた検討を行います。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	日本フィル友好提携事業や区民ギャラリーの運営など、区が実施している文化事業は無償または最小限のコストで実施しているため、削減は困難です。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	日本フィル友好提携事業では、各種コンサートなど区民に定着し、好評を得ています。今後は、区民参加・体験型のプログラムへの協力など新しい事業への支援も行っていきます。区民ギャラリーは、企画展を2回開催するなど区民に身近な文化芸術空間として機能しました。今後は、運営上の課題を整理し、企画展や区民等への貸し出しなどの方向性等について検討を進めていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 区民ギャラリーについては、改装等により充実を図り、その上で区の企画展を開催し、多くの区民が来場しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 日本フィル友好提携事業については、鑑賞型中心の事業に加え、区民参加・体験型等の事業の実施など、幅広い事業展開の可能性を検討します。区民ギャラリーについては、企画展の実施方針や区民等への貸し出し基準の整理など、運営方法の明確化、効率化を検討します。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 日本フィル友好提携事業、区民ギャラリーについての事業の改善は、事業費の増はできる限り伴わない形で予算見積もりをします。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並区文化協会助成		款	3	項	1	目	2	事業	2	整理番号	66		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	108		枝番号	
上位施策No・施策名		65 文化・芸術活動の推進		予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区文化協会補助金交付要綱 (2)								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の文化・芸術に触れる機会が増え、区民の文化・芸術活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能します。			活動指標名(式)		(1) 協会会員数 (2) 助成金交付決定件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区文化協会に対し、文化事業が円滑に行えるように補助金を交付する。この補助金をもとに、協会は文化・芸術に関する鑑賞事業、文化・芸術活動の育成・支援事業を行う。協会の会員制度を運営し、広報・情報提供を行うほか、個人や団体に文化芸術活動助成基金助成事業を行う。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 協会会員数対前年度比 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 助成金交付決定件数対前年度比 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		人	1,622	1,800	1,654	1,700	1,807	1,900	2,000	90.4	106.3			
	活動指標(2)		事業	20	35	32	35	21	35	40	52.5	60.0			
	成果指標(1)		%	13470.0%	11100.0%	10200.0%	10280.0%	10960.0%	10480.0%				106.6		
	成果指標(2)		%	-	17500.0%	16000.0%	10940.0%	6560.0%	16670.0%				60.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	54,492	85,611	64,910	91,346	69,220	84,617	20年度予算執行率%			75.8		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 本事業費は、協会会計予算の支出に応じた補助金ですので、事業実施による協会の収入部分が補助金の戻入となり、結果として執行率が下がっています。					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.82 0.00	4.00 0.00	4.44 0.00	4.00 0.00	4.26 0.00	4.00 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	43,669	36,560	40,582	36,200	38,553	36,200						
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	98,161	122,171	105,492	127,546	107,773	120,817						
	単位あたりコスト (-)÷		円	60,518	67,873	63,780	75,027	59,642	63,588						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					0	
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0					0	
都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0	0							
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0	0							
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	98,161	122,171	105,492	127,546	107,773	120,817							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 66

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	文化協会助成	
	その他()			0
(2)事業実績	コンサートなど文化・芸術に関する鑑賞事業を9事業実施しました。文化・芸術活動の育成・支援事業では、文化交流事業として3事業実施し、文化・芸術活動の支援事業として杉並演劇祭を支援するほか、100事業について後援をしました。広報では、「コミュかる」の発行回数を隔月発行に増やしました。すぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業では、21の個人・団体への助成を決定しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第35回杉並区区民意向調査(H15) 地域文化の振興施策 評価できる=8.3% 要望が高い=7.0% 第40回杉並区区民意向調査(H20) 地域文化の振興施策 評価できる=7.9% 要望が高い=6.3%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	情報紙コミュかるについては、イベント等に行ってみたくなる、情報が役にたっているなどの評価があり、日本フィルのコンサートや親子コンサートなどは恒例のイベントとして好評を得ています。チケットの購入に関しては、電話がつながりにくい場合があるとのこと指摘を受けています。
	今後の予測	厳しい経済状況から、区民等の文化振興施策に対する評価や要望は低減していますが、規制緩和などにより新たな分野への民間の進出が可能となり、多様なサービスが効率的に提供されることへの期待が高まっています。今後も文化芸術活動の効率的・安定的・継続的な運営の支援などの役割が増加します。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	協会の組織の特性を生かした柔軟で迅速な事業の遂行により、区民の文化・芸術活動の振興に寄与しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	事業の方向性を自主事業の実施から、区民・団体の活動支援に重点を置くよう事業内容について再構築していきます。また、広報紙の充実に加え、ホームページをさらに魅力あるものに変更していくなど、広報活動の改善を図ります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	低廉な価格で優れた文化・芸術の提供を行う面はしています。入場料金などについては、これまでも随時見直しを進めてきた。協会事業の利用者には高齢者も多い事などから、負担増につながることは慎重に検討していく。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	NPO団体等との協働化を進めることなどによりコストの削減を進めていきたい。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	日フィルなど鑑賞事業や親子コンサートなどの自主事業は評価も高く集客力もあります。また、演劇祭や講演事業など支援事業も定着しています。一方で、広報活動として、情報紙コミュかるの内容の充実、ホームページのリニューアルを通して情報発信力を高める必要があります。今後は、区の文化・芸術施策の方向性の検討に合わせ、協会の役割を再確認するとともに、日常的・継続的な評価(モニタリング)をきちっと行い、支援していきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 鑑賞事業から、文化・芸術活動への支援と育成を中心とした事業へと重点を置くことに関しては、杉並演劇祭や文化芸術活動助成基金など支援事業を積極的に行いました。区の文化・芸術施策全般にわたる協会の役割、事業内容の拡充につきましては課題として残っています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後の区の文化・芸術施策の方向性の検討経過を踏まえ、21年度には協会の役割、事業内容など運営について改善の検討を行い、22年度事業計画に反映させていきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理由 区の文化戦略についての基本的な考え方の検討を踏まえながら、文化協会の役割につきましても見直すこととなりますが、事業費の増をできる限り抑制するよう工夫していきます。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並公会堂(PFI事業)			款	3	項	1	目	4	事業	1	整理番号	74	
担当部課名	区民生活部文化・交流課			係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	111	枝番号	
上位施策No・施策名	65 文化・芸術活動の推進											予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	2	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			区民、文化・芸術団体		根拠法令等	(1) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 (2) 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が良質な文化芸術を鑑賞できる機会を提供するなどとともに、区民自らの文化芸術活動を気軽に行える場としていきます。				活動指標名(式)		(1) 自主事業実施回数 (2) ホール・スタジオ等の利用件数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や活力を活用したPFI手法により運営する。 公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を行う。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 自主事業参加人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) ホール・スタジオ等の稼働率 算定式・指標の説明等						
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	22年度				
指標	活動指標(1)		回	5	18	18	17	17	25	25	68.0	100.0		
	活動指標(2)		件	16,797	18,000	23,549	24,000	24,327	24,000	25,000	97.3	101.4		
	成果指標(1)		人	3,889	10,000	11,591	10,000	10,314	11,000	12,000	86.0	103.1		
	成果指標(2)		%	70	80	83	80	84	85	85	98.8	105.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	570,743	923,861	894,187	898,862	898,259	923,862	20年度予算執行率%			99.9	
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	898,862	898,259	923,862					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.56 0.00	0.50 0.00	債務負担設定額: 29,036,000(千円) 債務負担設定期間:34年				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	4,530	4,570	4,570	4,525	5,068	4,525					
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	575,273	928,431	898,757	903,387	903,327	928,387					
	単位あたりコスト (-) ÷		円	115,054,600	51,579,500	49,930,944	53,140,412	53,136,882	37,135,480					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等		千円				0	0	0				
		その他の補助金等		千円				0	0	0				
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	575,273	928,431	898,757	903,387	903,327	928,387						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 74

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設サービス購入料(細)	2	回	503,378
		維持管理・運営サービス購入料(細)	4	回	394,881
		その他()			0

(2)事業実績
PFI事業として杉並公会堂施設利用、維持管理・運営を円滑に行うため、施設サービス購入料を2回、維持管理・運営サービス購入料を4回支払いました。これにより20年度は17回の自主事業が行われ、貸し館としての稼働率も微増ながら、高い水準を維持しています。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第35回区民意向調査(H15) 地域文化の振興施策 評価できる=8.3% 要望が高い=7.0% 第40回区民意向調査(H20) 地域文化の振興施策 評価できる=7.9% 要望が高い=6.3%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成20年度利用者アンケートでは、「満足」、「ほぼ満足」の合計の割合がすべての項目の平均で約85%と評価を得ています。ホールの音響については、高い評価をいただく中、身近な本格的音楽ホールとしての喜びの声も寄せられています。
	今後の予測	厳しい経済状況の中、文化芸術活動においては今後も民間と行政の役割分担とともに、多岐にわたるサービスが効率的に提供されることへの期待が高まる事が予測されます。PFIという民間手法を用いた利点を活かした更なるサービスの向上が、区民等利用者から要望されることとなります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	杉並区の文化のシンボルの存在として活用されています。特に音楽分野では区内外問わずに利用希望が多く、音の良さでも高い評価を得ています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	PR等により区民利用をさらに高めていきます。また、鑑賞型の公演だけでなく参加型の公演を組込む事により、更なる成果を上げていく見込みがあります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	現在利用料金は、廉価な設定となっておりますが、今後の情勢次第では受益者負担増の可能性もあります。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	PFI手法による事業のため、債務負担が設定されており、公租公課や金利の見直しによる変動以外はありません。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 民営化	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	身近な専門性の高いホールとしての役割を果たし、出演者からも来場者からも高い評価を得ています。集客の向上等経営状態の安定を模索しつつも、優れた文化・芸術を如何に提供するかPFI事業の真価が問われてきます。区としては定例的な会合も含め、日常的・継続的な評価を的確に行っていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 文化芸術に対する期待の声が多岐にわたる中、運営事業者は、鑑賞型の公演のみに留まらず、参加型の事業を取り入れることなどにより、多くの利用者の要望に応える努力をしています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後年数を重ねるごとに行われる施設の修繕などについて、中・長期的な修繕計画を視野に入れた評価方法を22年度までに検討していきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理由 公会堂サービス購入料は、施設の施設整備に係る費用及び維持管理・運営に係る費用から本施設の運営収入施設利用料収入を差し引いた額をサービス購入料とし、当該購入料から事業期間終了時に支払う施設簿価購入費を差し引いた額を、事業期間(30年)にわたって平準化したもので、公租公課の評価の見直し等を除き原則的に変更はありません。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		文化財調査・保護			款	7	項	5	目	1	事業	5	整理番号	525									
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課			係名	文化財係			連絡先電話番号	1667			昨年度整理番号	592 枝番号									
上位施策No・施策名		65 文化・芸術活動の推進			予算事業区分																		
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例										
	区内所在の文化財		区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般																				
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内の文化財を保護する。文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。										活動指標名(式)		(1) 文化財指定登録総件数		(2) 刊行物作成件数 + 文化財標示板等の作成修理件数						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		文化財調査を進め、必要と認めたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。										成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 文化財保護ボランティア登録者数		算定式・指標の説明等		成果指標名(2) 区共催事業の参加人数		算定式・指標の説明等		文化財ウィークの史跡散歩及び杉並区郷土芸能大会	
区分		単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		実績		計画	22年度									
指標	活動指標(1)		件	129	132	131	133	133	136	138	96.4	100.0											
	活動指標(2)		件	10	8	9	13	11	10	10	110.0	84.6											
	成果指標(1)		人	16	30	32	32	32	45	45	71.1	100.0											
	成果指標(2)		人	322	350	604	360	361	370	500	72.2	100.3											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,239	9,983	8,509	13,477	11,699	11,648	20年度予算執行率% 86.8													
	(内)投資的経費等		千円	27	140	43	100	74	100	特記事項 予算執行残の理由は次のとおりである。 文化財保護審議会開催実績の減による残 調査報告書等印刷経費実績による残													
	(内)委託費		千円	8,032	5,115	4,461	5,143	4,828	5,042														
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.40 3.70	3.00 4.00	3.07 4.10	3.00 4.00	3.00 4.00	3.00 4.00														
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	30,804	27,420	28,060	27,150	27,150	27,150														
		(内)非常勤職員分	千円	10,471	11,080	11,357	11,200	11,200	11,200														
	総事業費 + +		千円	54,514	48,483	47,926	51,827	50,049	49,998														
	単位あたりコスト (-) ÷		円	422,380	366,235	365,519	388,925	375,752	366,897														
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				0										
		国からの補助金等		千円	1,500	2,250	2,250	1,500	1,500				1,500										
都からの補助金等		千円				750	750	750															
その他の補助金等		千円				0	0	0															
特定財源計 + + +		千円	1,500	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250															
差引:一般財源 -		千円	53,014	46,233	45,676	49,577	47,799	47,748															
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0															

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 525

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	指定登録候補等調査委託	2
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	指定登録文化財保護奨励金	111	件	1,716
	文化財案内標示板等作成・修理	6	件	1,463
	埋蔵文化財調査委託(他、窓口対応4,079件、埋蔵文化財調査138件)	11	件	2,996
	その他(審議会運営、ボランティア、刊行物ほか)			5,298
(2)事業実績	文化財シリーズ「新修・杉並の寺院」の改訂増刷、「史跡散歩地図」の大改訂増刷、「埋蔵文化財年報」の創刊など、区民への新しい情報伝達手段が充実できました。特に「史跡散歩地図」は好評を博し、印刷した3万部のほとんどの配布を終えました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財シリーズは昭和45年の創刊から43冊を数え、案内標示板も153基と、文化財などに関する情報提供のための整備は順調に進んでいます。また区民の文化財に対する興味・関心の高まりと行政への区民参加の促進に伴い、文化財保護ボランティアの活動等も順調に進んでいます。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、当該事業への期待も高まっています。このため、新たな視点に立った文化財情報の提供や活用を求める要望がある一方、既存の文化財標示板等の更新を求める声もあります。
	今後の予測	区民自らがこの分野に深く関心を抱き、参加するに従い、その要望は細かく、深くなって行くと考えられます。新しい時代にあう文化財保護・活用(情報提供)を図るため、協働の力を借りて推進する部分と、行政に求められる正確性と専門性に応えるための高い見識にたった専門性に裏打ちされた調査・研究をする仕組み作りが求められます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	文化財の調査・保護を進め、文化財保護思想を普及することで、区民の地域の歴史や文化に対する関心が高まり、区民の文化的向上に資すると共に、郷土文化の振興と発展に貢献することができます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	文化財保護ボランティアや、区内の郷土史会・郷土芸能保存会等との連携を進めることで、成果を伸ばすことが可能と考えられます。埋蔵文化財調査は、その質の保持と継続的な資料蓄積のため専門常勤職員を補充(現状欠員)する必要があります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	文化財が国民共有の財産であるため、区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難です。また、文化財シリーズ等については、すでに有償頒布となっています。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	文化財の保存については、その所有者の負担によるものが大きく、これ以上そのコストを下げることは不可能です。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	埋蔵文化財窓口相談件数は年々増加傾向にあり平成19年度には7,200件に達したものの、平成20年度に実施した事務改善により相談・指導の質を維持しつつ4,000件に抑えることができました。また、種々の刊行物の発行により、多くの区民に区内の文化財を紹介することができました。しかしながら、窓口事務を縮量することができたものの、発掘調査現場に関する事務は減らすような性質のものではなく、今後の文化財の広報・活用事務の増加も含め、専門常勤職員の欠員補充は喫緊の課題といえます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	1文化財の指定・登録制度について:新しい視点にたって選定していきます。2文化財奨励金について:22~23年度にむけて調査・検討しています。3文化財保護の啓発等について:22~23年度にむけて調査・検討しています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 2文化財奨励金については、制度の中でより効率的な有効活用ができるよう23年度まで検討します。3文化財保護の啓発等については、ボランティアの成長を踏まえつつ、より有効な文化財保護指導制度を23年度まで検討します。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	2文化財奨励金については、指定文化財と登録文化財の制度上の違い、登録文化財制度の特質と財源との関係の難しさが課題です。3文化財保護の啓発等については、ボランティアの成長を踏まえつつ、より有効な文化財保護指導制度の活発化を23年度まで検討します。								
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	文化財保護行政については、急激な変化はむしろ好ましくなく、現状から一步一步着実に進めて行くことが望ましいため、予算的にも現状を維持しつつ、着実な文化財保護行政を進めて行くことが重要です。							